



Untitled, 100 x 70 cm, Mixed media on paper, (oilpastel, drypastel, ink and cloth on paper), 2025

ハンス・アンダーソン 個展

会 期：2025年8月29日（金）～9月27日（土）

営業時間：11:00-18:00 [火-土] 日・月・祝 休廊

■ オープンングレセプション：8月30日（土） 16:00~18:00

ハンス・アンダーソンは1979年スウェーデン・カルマに生まれ、現在はストックホルムを拠点に制作活動を行っています。2005年にストックホルムのコンストファック（スウェーデン国立工芸デザイン大学）にて美術修士号（MFA）を取得しました。本展は、2019年に続くLOKO GALLERYでの二度目の個展となります。

2019年に発表された作品群は、異素材を精緻に裁断・配置することで、記憶の断片を呼び起こすようなコラージュとして構成されていました。そこに重ねられた色彩は、物質の上にただ在るのではなく、精神的な層として画面に浮かび上がっていました。

今回の展示においてアンダーソンの作品は、空間との共鳴関係のなかで一層の変容を見せています。物質としての素材は背景へと退き、色彩は視覚的要素にとどまらず、制作行為の記憶そのものとして立ち現れます。結果として、作品の輪郭は曖昧化し、可視的な表層を越えて、非物質的かつ霊的な次元へと鑑賞者を誘います。

アンダーソンの作品における〈色〉とは、単なる絵画的要素ではなく、時間と空間、そして作家の身体性を通じて生成された「場」の記録です。そのような開かれた表現の場で、作品との対話をお楽しみいただければ幸いです。

ハンス・アンダーソン

私は紙を主な支持体としながらも、さまざまなメディアを用いて制作を行っています。拾い集めた紙や布、油絵具、顔料、シェラック、ドライパステル、オイルパステル、インク、グワッシュ、水彩、鉛筆、修正液、木炭など、多様な素材と色彩の実験を通じて、非線形で探索的なプロセスを展開しています。

制作においては、感覚的な指標として香りを用いることがあります。スタジオには常にいくつかの香りが置かれており、制作中にそれを嗅ぐことで感覚を呼び起こし、作品の方向性を探ります。これはある種の奇妙な執着から自然に生まれた習慣です。近年では、これに加えて録音された音の断片も、同じような「道しるべ」として取り入れています。

私にとって、制作のプロセスと完成作品は等価であり、それらを「内側」と「外側」として呼び分けています。「内側」（すなわち制作過程）は、場所や時間の経過（石の床、ほこり、日焼けした紙、湿気、私の動作や痕跡、無数の線、絵の具、加筆や削り取り）を含むと同時に感情や出来事（退屈、悲しみ、喜び、不安、ときめきなど私の動きを引き起こすもの）も含んでいます。まさに生きた生成過程のことで、そして「外側」はそれらの軌跡の可視化にほかなりません。この二つは互いに平行し、相互に浸透し合う関係にあります。

本展に出品された作品群は、私の創造的プロセスにおける「潮流」のような動きから生まれたものです。ある瞬間から、時間や構造の境界が急速に変化しはじめ、これまで数ヶ月から数年かけて制作していた作品が、突如として一日で完成するようになりました。まるで蓄積されていたエネルギーが一気に放出されたかのような体験でした。かつての作品は「身体的」であり、「この世界に属するもの」でしたが、新たな作品はより開かれ、空気のように「非物質的」な性質を持っています。以前の作品が「蓄積されたエネルギー」だったとすれば、現在の作品は「放たれたエネルギーの痕跡」と言えるでしょう。

作品の在り方を考えるにあたり、ジャック・デリダのテキスト論すなわち、

<テキストが自らを例示するような構造>に思いを馳せています。私の作品にはタイトルがありません。沈黙こそが作品を開く鍵であり、アートは「開かれたままの窓」であり、「精神が呼吸するための器」としての人間を通して立ち現れるポータルなのです。

ハンス・アンダーソン Hans Andersson CV 1/2

■主な個展

- 2025 Anna Bohman Gallery (ストックホルム、スウェーデン)
- 2023 Anna Bohman Gallery (ストックホルム、スウェーデン)
- 2021 Anna Bohman Gallery (ストックホルム、スウェーデン)
- 2019 「Smetana Disc Brake」(Linnea Sjöbergとの二人展)Fullersta Gärd(ヒューディング、スウェーデン)
- 2019 Hans Andersson [個展] LOKO GALLERY (東京、日本)
- 2018-2019 「Stipendieutställning (奨学金展)」 Galleri Öst / Konstakademien (ストックホルム、スウェーデン)
- 2018 Galerie Forsblom (ストックホルム、スウェーデン)
- 2017 Galerie Forsblom (ヘルシンキ、フィンランド)
- 2015 Lars Bohman Gallery (ストックホルム、スウェーデン)
- 2013 Sandgrund (カールスクルーナ、スウェーデン)
- 2013 Angelika Knäpper Gallery (ストックホルム、スウェーデン)
- 2011 Hans Andersson [個展] Angelika Knäpper Gallery (ストックホルム、スウェーデン)
- 2009 Hans Andersson [個展] Angelika Knäpper Gallery (ストックホルム、スウェーデン)
- 2008 「5 teckningar」 Angelika Knäpper Gallery (ストックホルム、スウェーデン)
- 2003 Gallery Nema Hvacd (レイキャビク、アイスランド)



■主なグループ展

- 2025 「Art on Paper」 Ståhl Collection (ノーショーピング、スウェーデン)
- 2023 「Lifetime」 Hudiksvallsgatan 8 (ストックホルム、スウェーデン)
- 2023 Anna Bohman Gallery (ストックホルム、スウェーデン)
- 2022 「Jubileumsutställning (記念展)」 Liljevalchs Konsthall (ストックホルム、スウェーデン)
- 2022 「Delta exhibition - trifold」 What Cafe (東京、日本)
- 2021 Ståhl Collection (ノーショーピング、スウェーデン)
- 2021 「La vista y el tacto」 フェデリコ・ガルシア・ロルカ・センター (グラナダ、スペイン)
- 2021 Anna Bohman Gallery (ストックホルム、スウェーデン)
- 2020 「Repetitions - 反復」 LOKO GALLERY (東京、日本)
- 2020 「Baby father」 Tre kronor (ソルナ、スウェーデン)
- 2020 「Arco Madrid」 Galería F2 (マドリード、スペイン)
- 2020 「Non-space」 Revolver Gallery (リマ、ペルー)
- 2019 「Cologne Art Fair」 (ケルン、ドイツ)
- 2018 「宇宙意識美術館」 Fenberger House (長野、日本)
- 2017 「If You Don't Like Art, Goodbye, Fuck Off, Go Home」 Vestfossen Kunstlaboratorium (ヴェストフォッセン、ノルウェー)
- 2017 「Biotop」 Biologiska Museet (ストックホルム、スウェーデン)
- 2017 「Invited」 Konstärshuset (ストックホルム、スウェーデン)
- 2017 「American Embassy in Sweden」 (ストックホルム、スウェーデン)
- 2016 「Swedish Art: Now!」 Sven-Harrys konstmuseum (ストックホルム、スウェーデン)
- 2015 「Implicit Hits (Hans Andersson / Eva Löfdahl / Arijana Kajfes)」 Kalmar Konsthall (カルマル、スウェーデン)
- 2014 「Artefact: from fetish to commodity」 Flach Gallery (ストックホルム、スウェーデン)
- 2014 「No sound is innocent」 Marabouparken (スンドビーエリョ、スウェーデン)
- 2013 「Hans Andersson / Hilde Retzlaff」 Arles-sur-Tech (フランス)
- 2013 「Artefact: from fetish to commodity」 (バマコ、マリ)
- 2013 「Panorama」 Lars Bohman Gallery (ストックホルム、スウェーデン)
- 2013 「Självporträtt」 Fullersta Gärd (ストックホルム、スウェーデン)
- 2012 「Festivall 3.5」 Artima Gallery (レイキャビク、アイスランド)
- 2012 「Market Art Fair」 Angelika Knäpper Gallery (ストックホルム、スウェーデン)
- 2012 「At the end of the Rainbow」 What the Shop (ウィーン、オーストリア)
- 2010-2011 「Spår」 Malmö Konstmuseum (マルメ、スウェーデン)
- 2010 「Expanding Mind and Space」 Angelika Knäpper Gallery (ストックホルム、スウェーデン)
- 2009 清華大学芸術博物館 (北京、中国)
- 2009 「Cut Ups」 Centrum för Fotografi (ストックホルム、スウェーデン)
- 2008 「Återväxt」 Forum Kultur (ストックホルム、スウェーデン)
- 2007 「The Eight Queens Puzzle」 Angelika Knäpper Gallery (ストックホルム、スウェーデン)
- 2006 「Swallowing by a Monster」 Galleri Massma (ロネビー、スウェーデン)
- 2006 「Likimain」 Jetty Barracks Gallery (ヘルシンキ、フィンランド)
- 2006 「Nuevo Estocolmo」 Södertälje Konsthall (セーデルテリエ、スウェーデン)
- 2004 「Enkel 2」 Academy Gallery (ヘルシンキ、フィンランド)
- 2004 「Nordur og Nidur」 Nordiska Huset (レイキャビク、アイスランド)
- 2004 「First We Take Manhattan」 Torstrasse 111 (ベルリン、ドイツ)

■アートフェア

- 2022 WHAT CAFE × DELTA EXHIBITION - TRI FOLD 天王洲 WHAT CAFE (東京、日本)

| ハンス・アンダーソン Hans Andersson CV 2/2

▪ 助成金・受賞・レジデンス

- 2025 Helge Axson Johnsons Stiftelse
- 2025 2年間の制作助成金
- 2022 スウェーデン芸術助成委員会 (Konstnärnämnden) 1年間の制作助成金
- 2019 Japansstiftelsens resestipendie
- 2018 Konstnärnämnden resestipendie
- 2018-2019 Konstnärnämnden 2年間の制作助成金
- 2017 Konstakademien / Bonniers 展覧会助成金
- 2017 AIT Tokyo レジデンス (9月-12月)
- 2017 Esther Lindahls travelfund
- 2013 Konstnärnämnden 2年間の制作助成金
- 2013 Arles-sur-Tech レジデンス
- 2011 Helge Axson Johnsons Stiftelse
- 2009 Creating Spaces 北京プロジェクトレジデンス (10月-12月)
- 2008 Konstnärnämnden 1年間の制作助成金
- 2008 UN-Stiftelsens 芸術家報奨
- 2006 Sleipner

▪ パブリックアート

- 2021 Drevkarlen (ヒョルトハーゲン、スウェーデン)
- 2020 Södertälje 病院
- 2017 「Without title」Kalmar 県病院 (棟2 / 7階)
- 2015 Södersjukhuset (ストックホルム) 建物74号館ファサード: スケッチ・コミッション
- 2013 Kalmar 病院 ラウンジ・ホール Hjärnan

▪ 出版・文献

- 2021 『Oppna ogonen』Lars-Erik Lapphalainen / Kunstkritikk
- 2018 『Hans Andersson på Konstakademien』Magnus Bons / Konsten.net
- 2018 『Verk av skrap, sa vackra att de tar andan ur en』Clemens Poellinger / Svenska Dagbladet
- 2018 レビュー / Omkonst.se
- 2018 『Att skapa i fattigdom – om Hans Anderssons konst i Essa』Christine Zyka / Signum
- 2018 展覧会カタログ / Galerie Forsblom
- 2017 ESSA
- 2017 『Artefact: from Fetish to Commodity』
- 2016 『Cahiers Simone Weil』Christine Zyka
- 2015 『Overraskande utställning』Barometern、2月28日
- 2015 『Implicit Hits』展覧会カタログ / Kalmar Konsthall
- 2015 『Före eller efter pappret』Frans Josef Peterson / Kunstkritikk、1月22日
- 2015 『Skapelse och tankeprocesser』Peter Cornell / Omkonst、1月21日
- 2015 展覧会カタログ / Lars Bohman Gallery
- 2013 『Const』Ida Theren / Rodeo、7月18日
- 2013 『Hans Andersson: s/t』Edda Publishing
- 2010 『Creating Spaces』プロジェクトカタログ
- 2008 『Galleri Knäpper / Hans Andersson』Peter Cornell / Expressen、1月30日
- 2008 『Varsalongen Liljevalchs Konsthall』展覧会カタログ
- 2006 『Swallowing by a Monster』Galleri Massma / Blekinge Läns Tidning
- 2006 『Likimain』展覧会カタログ
- 2006 『Nuevo Estocolmo』展覧会カタログ
- 2004 『Nordur og Nidur』展覧会カタログ
- 2004 『First We Take Manhattan』展覧会カタログ

▪ 所蔵先

LOKO GALLERY (東京、日本)、Fenberg House (長野、日本)、在北京スウェーデン大使館、マルメ美術館 (Malmö Art Museum)、National Art Council, Sweden、Statens Allmänna Konstförening、Ståhl Collection

